

これがオススメ! 読み聞かせ本

中高学年

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

アフガニスタンの豊かな自
然とそこでの日常生活の一こ
まを描いています。主人公の

男の子が父さ
んとサクラン
ボやスモモを
町に売りに行
き、帰りに小
さな羊を買っ
てもらおうとい
う、ちよっと
したエピソードを美しい色
彩で見ることが出来ます。



『せかいいち うつくしい ぼくの村』

(小林豊文・絵 ポプラ社)

美しい自然とほのぼのとし
た日常を味わってきた、その
最後のページに「その とし
の ふゆ、村は せんそうで
はかいされ、いまは もう
ありません。」という言葉があ
ります。子どもたちはびっく
ります。そして、「先生、ど
うして?」と聞いてきます。
絵本最後のページの後、「も
っとパグマン村のことを知り
たいひとへ」と書かれています。
子どもたちは口々に「読
んで!」と言って知りましたが
ります。「戦いは国じゅうにひろ
がり、あれはた土地をすて
て外国へ避難するひとたちは、

500万人をこえました。」と
いう部分で、想像もできない
ことが起こったことがわかり
ます。とてもすてきな絵です。
だからこそ、その村が無くな
ってしまったこととの落差を
強く感じます。

絵をじっくり見てほしいと
きは、机と椅子を下げて前に
集まってもらおうにしませ
よう。それから、ページをめ
くるときにスムーズにいっ
うに、指サックをつけておき
ましょう。こんなちよっとし
たことも、絵本を読むときは
大事です。では、絵本の豊か
な世界をお楽しみください。